

得点

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問1	現代の家族観では、「家」は帰るべきところ	20
	であり、自分を受け入れてくれる家族のいる	40
	ところ、つまり、自分が全面的・安定的に帰	60
	属している所である。そのため、結婚して所	80
	帯を持つとその新たな場所が「家」になる。	100
	一方で古代の家族観では、男性と女性は通い	120
	婚をすることも多く、「家」をめぐつて重層	140
	した帰属感がみられ、どこにも安定した帰属	160
	感を持っておらず、帰るべき「家」がないこ	180
	とを示している。	200

問2	ウ
----	---

問3	1980年～2000年にかけて、3世代世	20
	帯の減少とともに単独世帯・夫婦のみ世帯の	40
	増加が起こり、共働き世帯も増加した。一方	60
	で2000年以降では、夫婦と子供世帯の数が	80
	を単独世帯が上回り、さらに夫婦の共働き世	100
	帯の数が男性雇用者と無業の妻からなる世帯	120
	の2倍以上になった。	140
		150

問4	男性と女性が求めることや1日に使う時間の	20
	内容の違いを意識し、協力できることがない	40
	か話し合う。	50

得点

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問1	①現代の家族観について言及している。	3点
	②現代の家族は「全面的・安定的に帰属できる」と説明している。	3点
	③古代の家族は「帰属感が重層している」と説明している。	3点
	④「帰属感の重層」を「安定した帰属感がない」と説明している。	3点

/12

問2	ウ	4点
----	---	----

/4

問3	①2000年までと2000年以降に分けて説明している。	2点
	②2000年までについて資料5から正しく読み取れている。	3点
	③2000年までについて資料6から正しく読み取れている。	3点
	④2000年以降について資料5から正しく読み取れている。	3点
	⑤2000年以降について資料6から正しく読み取れている。	3点

/14

問4	①男女で違いがあることに着目している。	2点
	②家族関係をよりよく保つ・改善する策になってる。	4点
	③自分たちがパートナーとお互いに協力してできることを書いている。	4点

/10
